



会津果樹情報 9月号

～果樹生産における仕上げの季節となりました～



令和5年9月12日

福島県会津農林事務所 農業振興普及部

J A会津よつば あいづ西部営農経済センター

1 気象概況

会津若松市の令和5年8月の平均気温は29.0℃（平年比+3.9℃）で、降水量は23.5mm（平年比-113.9mm）と、**高温・乾燥傾向**で推移しました。

東北地方の1か月予報（9/2～10/1）によると、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。降水量と日照時間は平年並みの見込みです。

2 生育概況（9/1現在、会津若松市）

表1 各樹種の果実肥大状況（9月1日調査、暦日比較、平年は1986～2022年の平均）

樹種	りんご		かき	
品種	ふじ		会津身不知	
調査地点	会津若松市北会津町		会津若松市門田町	
分類	縦径	横径	縦径	横径
果実径(mm)	66	77	48	69
平年比(%)	97	103	102	107

(1) りんご

ア 果実品質

果実肥大は、乾燥の影響で生育日数比だと平年より小さく推移しています。

また、高温乾燥により、早生品種を中心に日焼け果や着色不良果が発生しています。なお、凍霜害の影響により、中心果の結実率が低く（中心果結実率:12%）、変形果やサビ果が多く見られています。

イ 褐斑病（図1）

8月下旬頃の調査時では、普及部管内の10ほ場のうち4ほ場で少～中程度発生しており、発生ほ場割合は、平年より高い状況です。昨年多発した園で発生がみられ、一部の園では落葉が見られています。



図1 褐斑病

ウ 輪紋病

9月4日の調査時には普及部管内の10ほ場のうち2ほ場で果実での発病が見られました。果実で発生しやすい品種はふじや王林などです。

(2) かき

ア 果実品質

果実肥大は、暦日比では平年より大きく、生育日数比だと平年並みで推移しています（表1）が、肥大速度は平年よりも緩慢になっています。7月中旬以降の高温・乾燥により日焼け果が10～20個程度見られています。

イ 落葉による生理落果

過度な乾燥により落葉が見られ、着果過多の園では生理落果が発生しました。

(3) もも

ア 果実品質

7月中旬以降（収穫2週間前～収穫直前）の降水量が平年と比べて少なかったため、「あかつき」の糖度（RM示度）は13.4°と平年よりやや高くなりました（平年12.8°）。

イ せん孔細菌病

3年前にせん孔細菌病が多発した園地であっても、発生は少ない状況です（夏型枝病斑は1樹あたり2本程度）。

ウ クワオオハダニ

お盆明けの高温・乾燥により、「ゆうぞら」でクワオオハダニが増殖しています。

(3) ぶどう

ア 果実品質

7月中旬以降、降水量が平年と比べて少なかったため、糖度は平年よりやや高くなりました（表2）。

表2 ブドウ品質調査の結果(2023 8/18)

品種名	糖度調査 1回目	糖度調査 2回目	糖度調査 (昨年(8/19))
高尾(園地A)	18.7° BX	18.6° BX	17.4° BX
高尾(園地B)	19.1° BX	18.7° BX	18.0° BX

イ 高温障害

7月中旬以降の高温・強日射によりハウス・露地の果房の上部で縮果症が発生しました。

3 今後の栽培管理

(1) 樹種共通

ア 野そ(ネズミ)駆除

- ・野そ被害が散見されます。殺そ剤を用いて地域ぐるみで駆除しましょう。
※殺そ剤を使用する際は、取り扱い説明書を読み、適正な使用をお願いします
- ・幹周囲の敷きわらは回収しましょう（敷きわら下が生息場所となります）。

イ 越冬害虫のバンド設置（9月下旬頃までに！）

- ・カイガラムシやナミハダニは、寒くなると樹の粗皮下などで越冬します。
- ・バンド誘殺は無農薬で越冬害虫を駆除できる環境にやさしい防除方法です。

～バンド誘殺のやり方～

- ・枝の幹に麻袋や飼料袋を巻き付けます。
※内側に虫が大量にくっつきます。
- ・2月上旬頃に取り外して園外で処分します。

(2) もも

ア せん孔細菌病の秋季防除

- ・秋期防除（ICボルドー412等の銅剤散布）を9月10日頃から10日間隔で計3回実施し、越冬菌密度の低下を図りましょう。
- ・台風や強い風雨前の予防散布を徹底させましょう。

※あらかじめ**秋季せん定**を実施し、薬液がかかりやすいようにしましょう。

(3) かき

ア 新梢管理

- ・ 9月下旬頃までに、徒長枝等を中心に新梢管理を実施しましょう。
- ・ 来年の結果母枝として利用できそうな新梢は残しましょう。
- ・ 徒長枝を大量にせん除すると日焼け果が増える恐れがあります。新梢管理は加減して実施しましょう。

イ 着色管理

- ・ 近年、温暖化による着色不良・収穫の遅れが問題となっています。
- ・ 収穫前30日を目安に樹冠下に反射シートを設置し、着色向上を図りましょう。
※それ以上設置時期を早めると、果てい部の裂果が多くなります。

(4) りんご

ア 着色管理

- ・ 果面の30%程度が着色したら、果実付近の葉を2～3枚摘み取りましょう。
- ・ 地面に反射シートを敷くことで着色むらが無くなります。

イ ハダニ類・褐斑病の防除

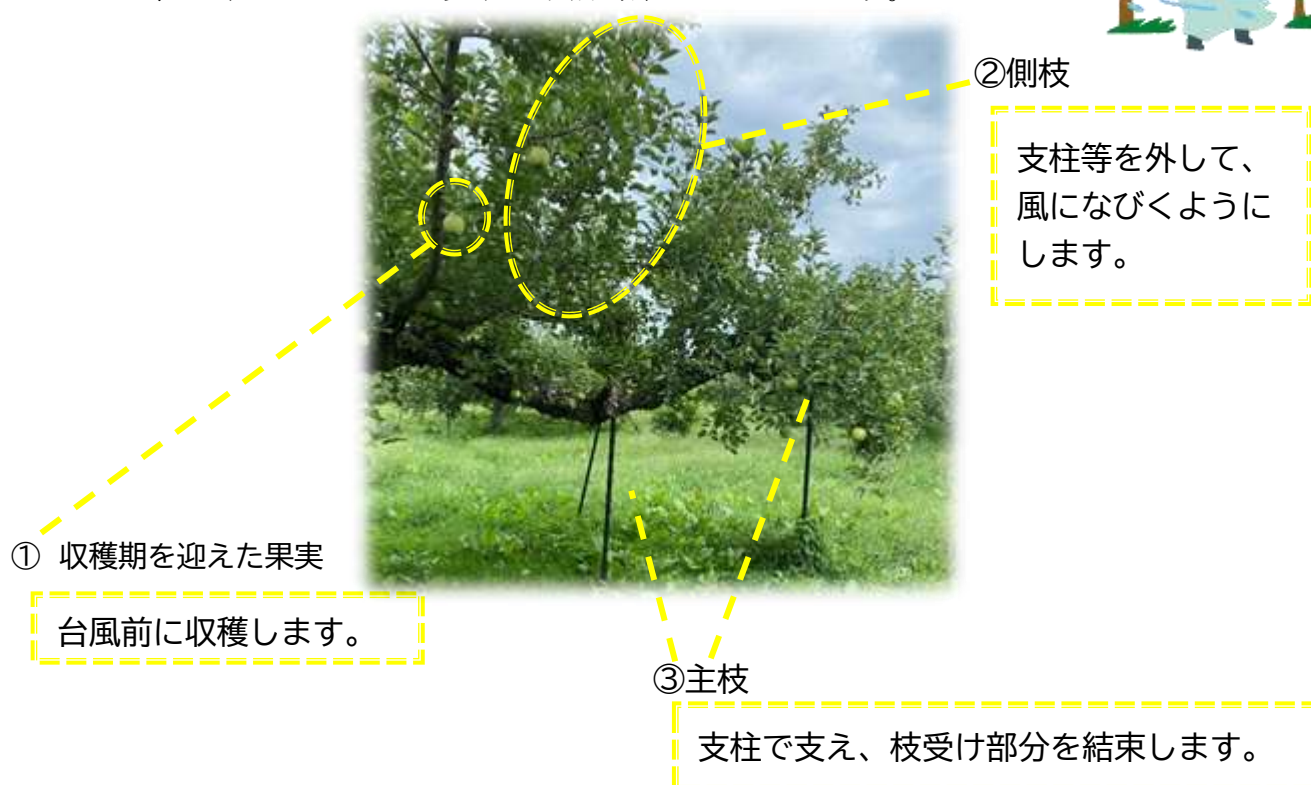
発生が多い園では、特別散布を行い、十分な量(500L/10a)を散布ムラの無いように実施しましょう。

ウ 秋肥の施用(つがる)

- ・ 春の初期生育には、前年の貯蔵養分が重要な役割を果たします。
- ・ 収穫後、速効性の化学肥料と緩効性の有機質肥料を組み合わせる施用しましょう。
※量は窒素成分で6kg/10aを基準とし、樹勢が強い場合は施用時期を10日ほど遅らせてください。

エ 台風対策

9～10月は例年、台風が多く襲来します。天気予報をチェックし、立木のりんごでは以下の事前対策をとりましょう。



(5) ぶどう

ア 収穫

- ・果実温度が低い朝の時間帯に収穫しましょう。
- ・晴れが2～3日続いた日に収穫するようにしましょう。降雨直後は糖度が1～2° Bx 下がることがあり、また土壌水分が高まって裂果することがあります。

イ 貯蔵

- ・湿度 80～90%、0℃付近（果実が凍結しない程度の低温）で貯蔵しましょう。
- ・成熟が進むため、エチレンの発生量が多いリンゴや梨、トマトと一緒に貯蔵しないようにしましょう。



ウ 基肥の施肥（10月下旬から12月頃）

- ・ぶどうの場合、生育に必要な養分の大部分は基肥です。基肥では緩効性の有機肥料等を使用し、量は窒素成分で2kg/10aを基準とします。
- ・早生品種の場合は9月頃に窒素成分で4kg/10aを施用しましょう。

クビアカツヤカミキリ侵入警戒！！見つけたら
大至急普及部（0242-29-5307）まで連絡を！！

- 県内では未だ発生は見られませんが、昨年、福島県に隣接している栃木県の市町村で発見されています。

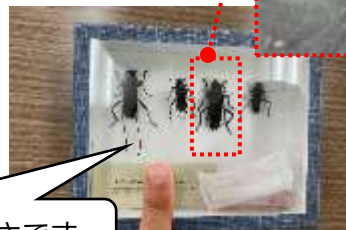
- 栃木県では、庭先のウメやモモの樹で先行して発生が確認されています。

成虫は7cm程度の大きさです

図 クビアカツヤカミキリ

- 特にもも園に壊滅的な被害をもたらします。

※もも産地である栃木県佐野市では、4年間でももの樹数が26%減少しました。



- 会津若松市でクマの目撃が相次いでいます。

園地に向かう際は、音の鳴る物（ラジオ、クマ鈴）を身に付けましょう！

- 収穫残渣は、クマが電気柵内に入ろうとするきっかけになります！

園地に放置せず、適正に処理（一か所に集めて埋める、柵で囲う等）しましょう！

- 電気柵設置後もこまめに見回り、電圧が低下していないかチェックしましょう！



りんごが美味しい季節になりました